

04

1万5000円のハイビジョンビデオカメラは使えるのか!?

検証&執筆・コヤマタカヒロ



ハイビジョンビデオカメラ

YASHICA DVC575

exemode

実勢価格:¥14,800

■サイズ・質量: 幅41×高さ68×奥行き111mm・質量227g (本体のみ) ■映像素子: 1/2.5型有効504万画素CMOSセンサー ■内蔵メモリ: 128MB ■液晶モニター: 2.5型 ■レンズ: 45mm (35mmカメラ換算) F3.2 ■電源: 単4アルカリ乾電池×4 ■電源寿命: 動画約90分、静止画約170枚

撮影後の画質に驚き!

DVC575は1970年代まで活躍していたカメラメーカー「ヤシカ」の名を冠したデジタルビデオカメラだ。ヤシカ社そのものは75年に経営破綻した後、京セラに吸収合併され、その実態を失っている。現在は商標権を持つ台湾企業から使用权を取得したエグゼモードがブランド名として利用している。

DVC575は一見してプラスチック製のボディやデザインなどが価格にあった安さを感じさせる。また、光学ズームを搭載しないため、運動会などで被写体にしっかりと近づくといったニーズには適していない。電源に単四アルカリ電池を使用しているのも特徴だ。実際に電源を入れ、様々な被写体を撮影してみた。液晶モニターは低価格デジタルカメラなどで一般的な2.5型。表示できる画質はそれなりといったところだが、画角や設定を表示するだけと考えれば問題ない。気になったのはズームレバーを動かした時の動作。無段階の3倍デジタルズームだが、動きが非常にぎこちないのだ。撮影し

Kaden News Network



ボタン類は一般的なビデオカメラと同様の配置。違和感なく操作できる。



近距離撮影のためにマクロボタンを装備。焦点距離は14、15cmだ。

Kaden News Network

ながらのズームは厳しいといえる。DVC575で撮影できる動画形式は720pのハイビジョン映像。フォーマットにはMOV形式を採用している。これはPCに親和性の高い形式だ。別日にキヤノンのiVHS HF20で同じ場所を撮影した映像と画質を比較してみたところ、驚くべきことに低価格とは思えない映像が表現できた。HF20と比べると多少は劣るものの、精細感もあり、ディテールも描けている。映像上の破綻や色かぶりなどもなかった。この価格で購入できることを考えれば満足できる画質だ。本格的な撮影ではなく、ハイビジョン映像で手軽に遊んでみたいなら十分な機種だろう。

高性能機と画質比較

CANON IVIS HF20

実勢価格:¥94,800



1280×720ピクセルのヤシカに対して、HF20は1440×1080ピクセルのXP+モードで撮影。フレームサイズでは倍近い違いがあるが、画質は十分に対抗できているレベル

YASHICA DVC575

実勢価格:¥14,800



多少は劣るものの、激安機とは思えない精細感とディテール!

手ぶれ補正の弱さとズームに難はあるが高画質で撮れる

結論

光学ズームがないため被写体に寄りにくいことや手ぶれ補正の弱さなど欠点はあるものの、これらは撮影テクニックでフォローが可能。運動会など激しい動きを追うシチュエーションには適さないが、夏の行楽などの撮影には十分使える。1万5000円という低価格だから、壊れてもあきらめがつくのもメリット。海や山など、高級機を持って行くのはためられる場所こそ、本領が発揮できそうだ。